

5 記述式

走れメロス

解答 解説

◆ メロスの心情の変化や生き方について、次の問いに答えなさい。

- ① メロスは、人を信じるといふことについてどのような信念を持っていましたか。教科書206ページ中から読み取って書きなさい。

ポイント

王に対するメロスの言葉に着目する。

例

人の心を疑ってはいけないという信念。

- ② 村を出発してから刑場にたどり着くまでのメロスの心情の変化について、次の空欄に言葉を入れなさい。

・村を出発したとき……あの王に、人の（ 信実 ）の存するところを見せてやろう。
 ・疲労して倒れたとき……もう、どうでもいい。いっそ（ 悪徳者 ）として生き延びてやろうか。

（ 正義 ） だの、信実だの、愛だの、くだらない。

・泉の水を飲んだとき……（ 信頼 ）に報いなければならない。

- ③ ②の心情の変化を踏まえ、メロスの生き方に対する自分の考えを、百字以内で書きなさい。

ポイント1

友の信頼を一度は裏切りそうになったが、結果的に自分の信念をつらぬいたというメロスの心情の変化を押さえて書く。

ポイント2

メロスの生き方に対する自分の考えを書く。

例

メ	ロ	ス	は	一	度	は	疲	れ	き	っ	て	信	念	を	投	げ	出	し	か
け	た	が	、	最	終	的	に	は	人	の	信	頼	に	報	い	る	と	い	う
自	分	の	信	念	に	し	た	が	っ	て	、	友	の	た	め	に	走	り	続
け	た	。	自	分	が	正	し	い	と	信	じ	る	こ	と	を	や	り	抜	く
こ	と	は	、	と	て	も	大	事	な	こ	と	な	の	だ	と	思	っ	た	。

自分の考え

100

80

※採点基準は、次のページにあります。

5 記述式

走れメロス

別解 解説

①の別解

例 人は互いに信じ合わなければいけないという信念。

採点基準

- ・教科書206ページ10行目「人の心を疑うのは、最も恥すべき悪徳だ。」という言葉に合った内容であること。
- ・文末を「…という信念。」としていること。

③の別解

③の別解

メ	ロ	ス	は	一	度	は	弱	い	心	に	負	け	そ	う	に	な	っ	た	が
、	自	分	の	信	念	を	支	え	と	し	て	立	ち	直	っ	た	。	そ	れ
は	「	人	を	信	じ	る	こ	と	」	だ	っ	た	。	人	を	ま	っ	す	ぐ
に	信	じ	る	こ	と	の	で	き	る	強	い	心	を	持	っ	こ	と	は	、
す	ば	ら	し	い	こ	と	だ	と	思	っ	た	。							

100 80

例

途	中	で	投	げ	や	り	な	気	持	ち	に	な	っ	て	し	ま	っ	た	メ
ロ	ス	を	ふ	る	い	立	た	せ	た	の	は	、	信	頼	に	報	い	て	み
せ	る	と	い	う	気	持	ち	だ	っ	た	。	王	の	よ	う	に	孤	独	な
心	を	持	っ	人	も	多	い	現	代	こ	そ	、	人	と	の	信	頼	を	大
切	に	し	て	生	き	て	い	く	こ	と	が	必	要	だ	と	思	う	。	

100 80

自分の考え

採点基準

- ・メロスが途中でくじけそうになったこと、その後立ち直ったことに触れて書かれていること。
- ・「信実」を最も大切なものと考えるメロスの生き方を押さえ、それに対する自分の考えを書いていること。
- ・百字以内で書いていること。下限は最大字数の八割（八十字）を目安にすること。